

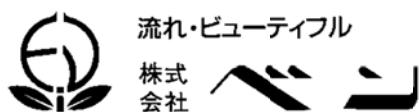
# F D - 6 N型 定流量弁

製品記号：F D 6 N - F □

※□には設定流量の記号が入ります。

水道法性能基準適合品  
(耐圧性能・浸出性能)

# 取扱説明書



## はじめに

この取扱説明書は、FD-6N型定流量弁の取扱方法について記述しています。本製品をご使用の前に熟読の上、正しくお使いください。

この取扱説明書は本製品を設置、および使用される方々のお手元に確実に届くようお取りはからい願います。

## 製品の危険性についての本文中の用語



**警告** : 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合。



**注意** : 取扱を誤った場合、使用者が軽い、若しくは中程度の傷害を負う危険が想定される場合、または物的損害・損壊の発生が想定される場合。

## ご使用にあたっての警告・注意事項

本製品のご使用にあたり、人身の安全および製品を正しく使用するために必ずお守りください。



### 警告

- 製品の使用条件が製品仕様を外れた過酷な条件下での使用の場合、製品の取付状態が不備な場合、また弊社以外で製品の改造などを行った場合などでは、製品の損傷・破損や流体の外部への流出（吹き出し）などに伴う事故を引き起こす恐れがあります。  
※このような事故の場合、弊社としては責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 製品にはむやみに触れないようにしてください。  
※高温流体の場合、やけどの恐れがあります。
- 製品の分解にあたっては、流体の供給弁を止め、配管内の流体を排出し、圧力が零になっていることを確認すると共に、高温流体の場合は、本体を素手でさわれるまで冷してから行ってください。  
※流体の吹き出しにより、周囲を汚したり、怪我や高温流体の場合はやけどをする恐れがあります。



### 注意

- 本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。一般のご使用者は分解しないでください。
- 本製品を使用する前に、製品についている銘板の表示、および1頁の仕様を確認してください。使用条件が仕様を満足することを確認の上、製品をご使用ください。
- 本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。

目次	頁
1. 製品用途、仕様、構造、作動 .....	1
(1) 用途 .....	1
(2) 仕様 .....	1
(3) 構造 .....	2
(4) 作動 .....	2
2. 設置要領 .....	2
(1) 製品質量 .....	2
(2) 配管例略図 .....	3
(3) 要領 .....	3
3. 運転要領 .....	4
(1) 試運転 .....	4
(2) 運転 .....	4
(3) 運転停止 .....	4
4. 保守要領 .....	5
(1) 日常点検 .....	5
(2) 定期点検 .....	5
(3) 消耗部品と交換時期 .....	5
(4) 故障の原因と処置 .....	5

目次	頁
1. 製品用途、仕様、構造、作動 .....	1
(1) 用途 .....	1
(2) 仕様 .....	1
(3) 構造 .....	2
(4) 作動 .....	2
2. 設置要領 .....	2
(1) 製品質量 .....	2
(2) 配管例略図 .....	3
(3) 要領 .....	3
3. 運転要領 .....	4
(1) 試運転 .....	4
(2) 運転 .....	4
(3) 運転停止 .....	4
4. 保守要領 .....	5
(1) 日常点検 .....	5
(2) 定期点検 .....	5
(3) 消耗部品と交換時期 .....	5
(4) 故障の原因と処置 .....	5
 ○分解・組立要領 .....	 6
(1) 分解 .....	6
1) 分解工具 .....	6
2) 分解 .....	6
《分解図》 .....	7
(2) 各部品の清掃および処置方法 .....	7
1) 前準備 .....	7
2) 各部品の清掃および処置方法 .....	7
(3) 組立 .....	7
 ○サービスネットワーク	

# 1. 製品用途、仕様、構造、作動力

## (1) 用途

FD-6N型定流量弁は、集合住宅、中高層ビル等の給水・給湯システムに使用される定流量弁で、一次側圧力の変動に対して常に流量が一定となる調整弁です。

(注：中央式給湯設備（温水循環方式）に設置する場合はFD-11N型をご使用ください。)

## (2) 仕様 (水道法性能基準適合品)

★ 型式	FD-6N型			
★ 製品記号	FD 6 N - F □ <sup>注</sup>			
★ 呼び径	15、20			
☆ 適用流体	水道水、温水			
☆ 流体温度	5~90°C			
☆ 一次側適用圧力	1.0 MPa 以下			
★ 設定流量記号	呼び径 15	0.4 : 4 L/min	0.6 : 6 L/min	
		0.75 : 7.5 L/min	0.9 : 9 L/min	
	呼び径 20	1.2 : 12 L/min	1.5 : 15 L/min	
		0.9 : 9 L/min	1.2 : 12 L/min	
		1.5 : 15 L/min	2.0 : 20 L/min	
		2.5 : 25 L/min	3.0 : 30 L/min	
		3.5 : 35 L/min	4.0 : 40 L/min	
☆ 作動差圧範囲	4~6 L/min : 0.03~0.3 MPa			
	7.5~15 L/min : 0.03~0.5 MPa			
☆ 設定流量の許容差	20~40 L/min : 0.035~0.5 MPa			
	4~6 L/min : ±1.5 L/min 以内			
7.5~40 L/min : 設定流量の±20%以内				
端接続	入口 : JIS Rcねじ 出口 : JIS Rねじ			
材質	本体 (CAC406C)、オリフィス (合成ゴム)			
本体耐圧試験	水圧にて 1.75 MPa			
取付姿勢	水平・垂直自由			

注：□には設定流量の記号が入ります。



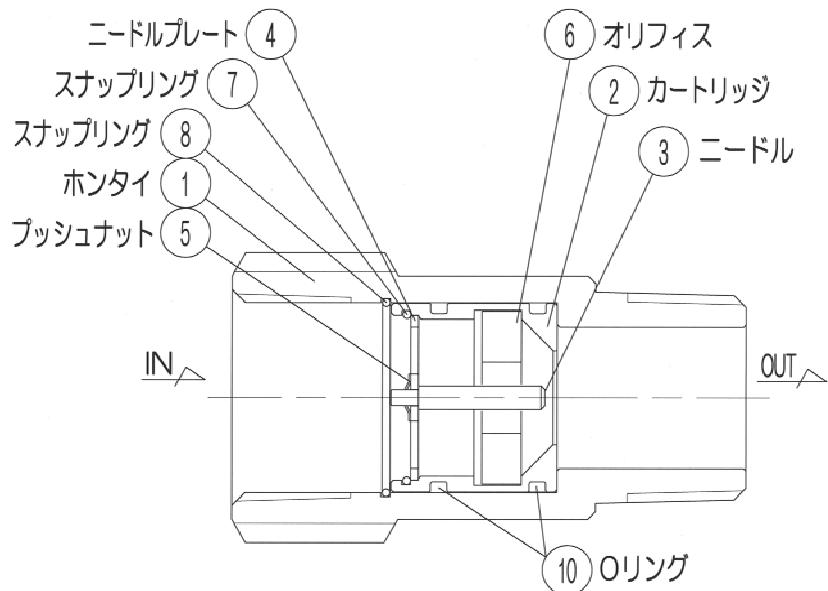
### 注意

- 製品に表示している型式、呼び径などの表示内容と注文された型式の上記仕様 ★ 部分を確認してください。
- 上記仕様の ☆ 部分が使用条件を満足することを確認してください。
- 上記の仕様を超えての使用はできません。

### 銘板 (例)



### (3) 構造



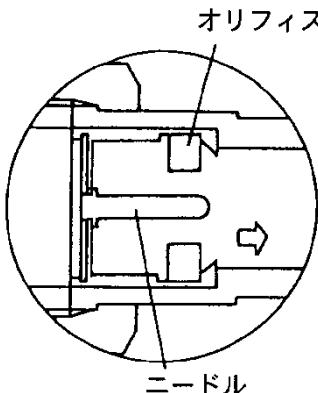
※図は呼び径 20A、設定流量 15~40L/min の場合を示しています。

呼び径、設定流量により構造、部品が異なります。詳細は納入品図面をご参照ください。

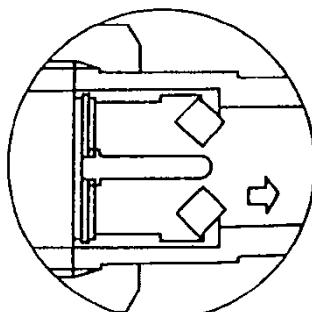
### (4) 作動

差圧の変化に応じ、オリフィスが通過流量を自動的に制限し、常に一定流量を保持します。

差圧 小



差圧 大



## 2. 設置要領



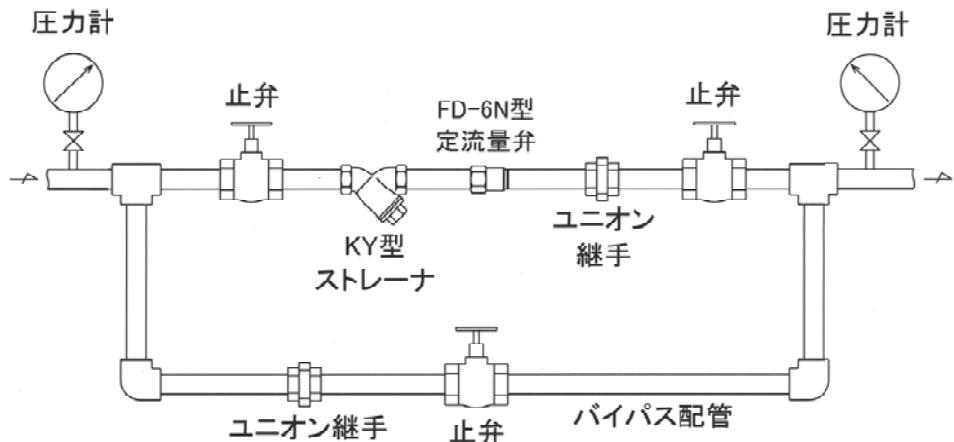
### 注意

- 配管接続に使用するシールテープ・液状シール剤など、配管内に異物が入らないよう注意してください。
- 製品を取付ける前に、配管の洗浄を十分に行ってください。  
※配管の洗浄が不十分な場合、ストレーナの目詰まりなどによる水量不足の原因となります。
- 製品を配管に接続する際は、製品に表示されている矢印と流体の流れ方向を合わせて取付けてください。

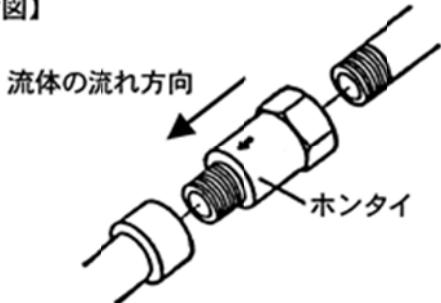
### (1) 製品質量

呼び径	15A	20A
質量	0.15kg	0.23kg

## (2) 配管例略図



【取付図】



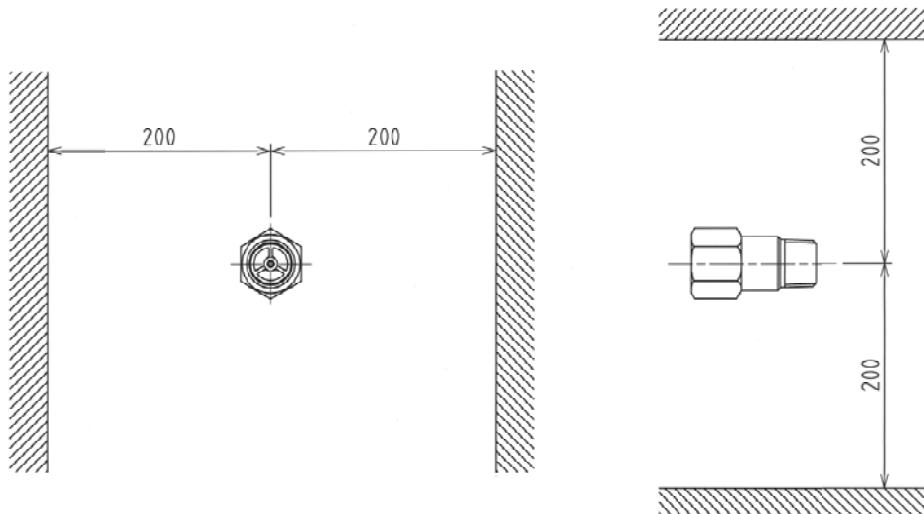
## (3) 要領



### 注意

- 製品の一次側には、40メッシュ以上のストレーナを取付けてください。  
※異物の混入により、作動不良などの原因になります。

- 1) 定流量弁前後の配管には、配管例略図のように止弁、ストレーナ、圧力計、バイパス配管を設けてください。
- 2) 取付け、分解点検のため、定流量弁の周囲の空間は下図の寸法以上確保してください。



### 3. 運転要領



#### 注意

- 本製品を配管取付け後、流体を流す前に、配管末端まで流体が流れても危険のないことを確認してください。  
※流体が吹出した場合、周囲を汚したり、怪我や温水によりやけどをする恐れがあります。
- 製品にはむやみに触れないようにしてください。  
※温水の場合、やけどをする恐れがあります。

#### ( 1 ) 試運転

次のような場合は下表の手順で試運転を実施してください。

- 1) 新設配管や交換など新たに定流量弁を取付けた時。
- 2) 定流量弁を長期間運転停止した後の再運転時。
- 3) 定流量弁に異常がないか点検する時。
- 4) 保守のため分解し、組立てた後。

	手順	要領	注記
配管清掃	1	一次側、二次側、バイパス管の止弁を閉止します。	新設時、および長期間運転停止後の再運転時に行う管内清掃。
	2	流体の供給弁を開き、次にバイパス管の止弁を開いて流体を流し、管内の異物を完全に除去します。	
	3	バイパス管の止弁を完全に閉止します。	
試運転	1	一次側、二次側の止弁を閉止します。	配管末端より流体が流れだすことを確認します。
	2	流体の供給弁を開き、一次側の止弁を徐々に半開状態まで開けます。	
	3	流体が定流量弁や配管接合部より漏れないことを確認します。	
	4	一次側止弁を全開状態とし、二次側止弁を徐々に全開まで開けます。	

以上で試運転は終了です。試運転で異常がある場合は「5頁：(4) 故障の原因と処置」を参照し、処置してください。

#### ( 2 ) 運転

試運転終了後、使用（通常運転）できます。運転で異常がある場合は、「5頁：(4) 故障の原因と処置」を参照し、処置してください。

#### ( 3 ) 運転停止

保守点検時の分解や清掃時には、一次側供給弁を閉止します。

## 4. 保守要領



### 警告

本製品の分解や配管からの取外しにあたっては、流体の供給弁を止め、配管内の流体を排出し、圧力が零になっていることを確認すると共に、流体が温水の場合は本体を素手でさわれるまで冷やしてから行ってください。

※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や温水によりやけどをする恐れがあります。



### 注意

- 本製品の機能・性能の確認のため、日常点検、定期点検を実施してください。
- 本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。  
一般のご使用者は、分解しないでください。異常がある場合は、設備、工事業者または当社に処置を依頼してください。

#### (1) 日常点検

点検項目	処置
流体の出具合	「(4) 故障の原因と処置」参照

#### (2) 定期点検

本製品の機能・性能を維持するため、定期点検を実施してください。

点検周期	主な点検項目
1回／1年	設定流量の許容差内の流量が流れているか。 定流量弁から異常音がしないか。

#### (3) 消耗部品と交換時期

消耗部品の耐用年数は使用頻度、使用条件などにより異なりますが、交換時期の目安は下表の通りです。

交換時期	部品名
1回／3～4年	オリフィス

※オリフィスを交換する場合は新品のカートリッジ（オリフィス廻り）一式と交換になります。  
(呼び径、設定流量により構造が異なります。)

#### (4) 故障の原因と処置

故障の状態、原因を確認し、処置します。

故障の状態	原因	処置
1. 流量が少ない。 (通水できない)	異物による詰まり。	分解・清掃を行う。
	ストレーナの目詰まり。	ストレーナを清掃する。
	設定流量の間違い。	ネームステッカーの設定流量を確認する。
	作動差圧範囲外である。	仕様をチェックし、型式を変更する。
	一次側の止弁が全開していない。	止弁を全開にする。
	凍結している。	配管系をチェックする。
2. 流量が多い。	設定流量の間違い。	ネームステッカーの設定流量を確認する。
	作動差圧範囲外である。	仕様をチェックし、型式を変更する。

## 分角栓・組立要領

### (1) 分角栓



#### 警告

本製品の分解や配管からの取外しにあたっては、流体の供給弁を止め、配管内の流体を排出し、圧力が零になっていることを確認すると共に、流体が温水の場合は本体を素手で触れるまで冷やしてから行ってください。

※流体の吹出しにより、周囲を汚したり、怪我や温水によりやけどをする恐れがあります。



#### 注意

本製品の分解にあたっては、熟練した専門の方（設備・工事業者の方など）が実施してください。一般のご使用者は、分解しないでください。異常がある場合は、設備、工事業者または当社に処置を依頼してください。

### 1) 分角栓工具

分解に必要な工具をあらかじめ用意します。

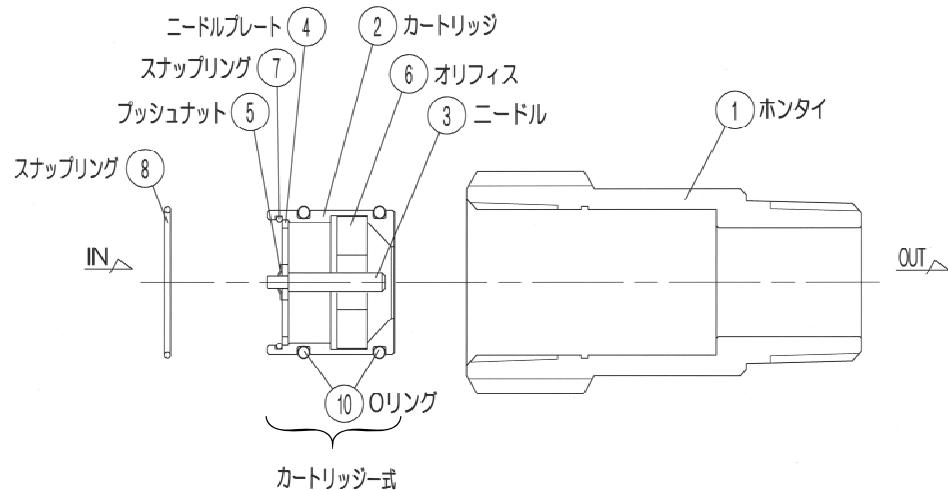
工具名称	工具使用箇所	部品番号
ラジオペンチ	スナップリング	⑧

### 2) 分角栓

（分解図 参照）

手順	分解要領
1	一次側の止弁を止め、製品・配管内の圧力を逃がします。温水に使用している場合は製品が素手で触れるまで冷やします。
2	製品を配管から取り外します。
3	工具を使用してスナップリング⑧を取り外すと、ホンタイ①内部から、カートリッジ式（カートリッジ②、ニードル③、ニードルプレート④、プッシュナット⑤、オリフィス⑥、スナップリング⑦、オリフィスオサエ⑨、Oリング⑩）が取り出せます。 ※呼び径、設定流量により構造、部品が異なります。

## 分解図



- ※注) ●部品名・部品番号は、納入品図面と異なる場合があります。部品交換等の手配の際には、部品名・部品番号は、納入品図面をもとに指示してください。
- 図は呼び径 20 A、設定流量 15~40 L/min の場合を示しています。
- 呼び径、設定流量により構造、部品が異なります。
- 部品交換はカートリッジ(オリフィス廻り)一式での交換となります。

## (2) 各部品の清掃および処置方法

### 1) 前準備

清掃前に必要な用具をあらかじめ用意します。

用 具	ウエス(柔らかい布)
	先のとがった工具(千枚通しなど)

## 2) 各部品の清掃および処置方法

手順	要 領
1	各部品をウエスで清掃します。
2	ニードル③、オリフィス⑥に異物の詰まり等がある場合は、先のとがった工具(千枚通しなど)で傷が付かないように異物を取り除いてください。

注記: 損傷部品の交換の要否が判断できない場合は、(株)ベンに相談ください。

## (3) 組立



### 注意

組立にあたっては、部品などは確実に組付けてください。

手順	要 領	注 記
1	損傷が激しい部品は新品と交換します。 ※部品はカートリッジ(オリフィス廻り)一式での交換となります。 (呼び径、設定流量により構造、部品が異なります。)	(株)ベンに相談する。
2	ホンタイ①にカートリッジ(オリフィス廻り)一式を組込み、スナップリング⑧をホンタイ①の溝部に装着します。	スナップリング⑧はホンタイ①の溝部に確実に装着してください。

以上で組立ては終了です。組立後は「4頁：3 (1) 試運転」を参照し、試運転を実施してください。

---

製品及び本取扱説明書に関するお問合せは下記へお願いします。

---

○サービスネットワーク

サービスネットワークについては、弊社ホームページ（二次元コード読み込みまたはURL入力  
(<https://www.venn.co.jp/>) の拠点情報より最寄りの営業所までお問合せ願います。

拠点情報 二次元コード

